



## 新築工事のご紹介



今回は春に完成した新築物件を紹介  
します。

金沢市西大桑町のY様邸です。  
お子さんがたくさんいるご家族。キッ  
チンは家族でいろいろな料理をつくる  
ということで背面にも作業用のカウンタ  
ーを設け収納も豊富にしました。

間仕切り壁も最小限に、二階も広々とした空間になっています。能登ひばと杉の香りがする家になりました。

## 手帳・手帖

日々の予定をメモする手帳。様々な種類があり、最近ではスマホを手帳代わりにする方も多いと思います。

手帳には、手帖というもう一つの漢字があります。松本清張の『黒革の手帖』もこの字です。意味自体はほとんど変わらないようですが、常用漢字で使われているのが『帳』の字なので手帳の方が良く使われています。

皆さんも手帳をいくつか持っているはずです。生徒手帳、県民手帳、年金手帳、おくすり手帳などなど。

身分を証明する手帳もあります。パスポート、警察手帳などがこれにあたります。

私も社会人になって現場監督として勤めはじめたとき、レベルブック(測量手帳)なるものを常に携帯するように上司から言われました。一度測量中に事務所に置き忘れ、厳しく叱責されたことがあります。それ以来、常に携帯するよう習慣づけました。

当時のメモを見ると、建築士試験の準備や、基礎杭の段取りなど四半世紀近く前の自分自身の仕事内容がかかっていますが、字の汚さは当時から全く成長していないようです(ˉ;)



## じいちゃんの話をしたら



長男の恭丞は小学2年生になり、次男隼平(6歳)は来年から小学生になります。三男玄悟(3歳)はようやく少しだけお話が出来るようになりました。先日、じいちゃん(私の父)はどんな人だったのかと恭丞に聞かれました。家族に対しては、星一徹バリの昭和のガンコ親父だったことを話すと、マツコデラックスが女性でないことを知ったときと同じように、ムンクの叫びのような驚きの顔をしていました。遺影ではニコニコとほほえんでいることにギャップを感じたのでしょう。

ちなみに隼平は、保育園の先生に「ボクの死んだじいちゃん、天国でお酒ばかり呑んでるヨ!」とっていました。夜の片町が好きだったので、特に否定はしません(笑)

## 会社の歴史(1)



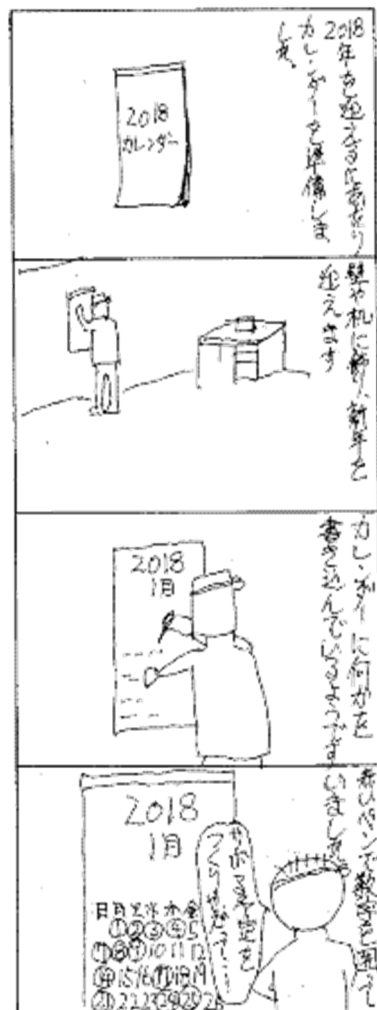
会社も創業から50年以上経ち一度過去の出来事をさらってみようかと思えます。現社長である私(東武志)の目線で書いていきます。写真は昭和46年当時のもので、0才だった頃の私です。作業場もなく、野積された材木が所狭しと置かれていました。

昭和36年6月に、先代である父東次男が東建築として個人創業をしました。先代が大工を始めたのが、中学を卒業した昭和26年なので、建築基準法が出来てまだ間もない頃のことです。当時は土壁・貫工法の建築が一般的だったため、筋違いを入れた今の工法とは全く違う建て方でした。

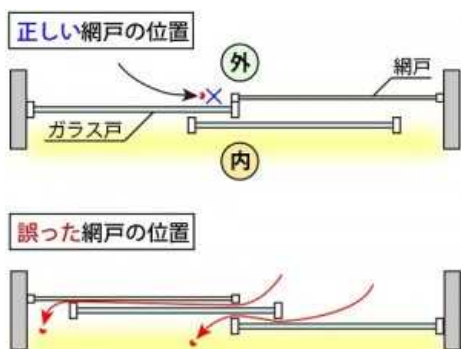
親方から独立し、その2年後に現在社屋のある金沢市押野の土地に引っ越して母と結婚、作業小屋とバラック小屋の自宅を建築し住んでいました。当時としては遅い28才での結婚でしたが、何度もお見合いをして断られて、ようやくという感じでした。

敷地の横に北鉄石川線があり、ドラム缶で材木の切れ端を燃やしていると線路の枕木に引火してボヤ騒ぎなんてこともあったようです。

## 大六さん 作:ひげくま



### 網戸の使い方



寒い日が続きます。春から秋にかけての話題になりますが、風を取り入れたいときは、窓を開けて網戸を使用するはずですが、最近テレビやネットでも取り上げられていますが、網戸にも配置する位置があります。一般的に使われている引き違いの窓の場合、上図のように室内から向かって右側に配置しなければなりません。下図の場合隙間が出来、蚊などが進入してきます。

また網戸も定期的に洗えば、外壁につく汚れも少なくなります。

### 編集後記

線路を挟んだ向かい側の工場が取り壊され新たに住宅地として生まれ変わろうとしています。会社のまわりも以前は工場ばかりでしたが住宅地に徐々に変わっています。時のうつり変わりと共に、街も変わっていくのを感じます。  
東武志

昭和36年創業 ずっとあなたのお抱え大工



株式会社 相互建設

〒921-8056 金沢市押野1-27  
TEL 076-241-8668 FAX 076-241-8614  
URL www.sougokensetsu.com  
e-mail info@sougokensetsu.com